

# 2022年度 教育活動等に対する園関係者評価

社会福祉法人愛の園福祉会  
第2幕張海浜保育園

## 1. 保育目標

すべての人は例外なしに「神によって創造された存在である」という理解に立って、神を愛し、自然を愛し、人間を尊ぶことが人間性の基礎であることの視点に立ち、以下のように基本方針と定め、これを実践し、具体化するために、乳幼児一人ひとりの主体性（自立性・自立心・自律性）を重んじ、社会性の芽生え（協調性・連帯性・責任意識）を育て、個性が伸びる創造性（興味・集中力・探求心）のある子どもを育成することを目標とする。

### 《基本方針》

- ①心の清い正直な人間・・・（良心教育）
- ②心の豊かな明るい人間・・・（情操教育）
- ③からだの丈夫な強い人間・・・（健康教育）
- ④動作の機敏な人間・・・（安全教育）

## 2. 本年度の重点課題

- ①地域の子育て支援への取り組み
- ②園独自の保育のアピール
- ③保育の質の維持を図る取り組み
- ④人材確保
- ⑤保護者会の組織化

## 3. 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

(評価はS90点以上 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D50～59点 E50点以下 )

評価項目	具体的な取り組み		自己評価		園関係者評価委員会	
			評価	保育園としての反省と改善策	評価	意見
教育・保育方針	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの発達に合わせた保育カリキュラムの計画と実践を行う。</li> <li>発達支援の研修や報告会を通し学び合う。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>各年齢ごとに発達に応じたカリキュラムの作成を行っている。保育者の主観で発達を捉える事が無いように法人で作成したキャリアアップファイルを活用している。</li> <li>今年度も発達支援員を迎え研修を行い専門機関との情報共有と職員の学びの機会を設けた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の経験年数毎に指標が可視化されているのはとても良い。入職後初めて務める職員がキリスト教保育を行う上で、必要な内容や活動を見たい時に確認ができるファイルが手元にある環境は安心できると思う。</li> <li>発達に関しては個人差が多く、とらえる人の主観が入りがちだが園内で研修を通して共通認識を持てる事はとても良い。</li> </ul>
	2	栄養士・保育者が各年齢発達に合わせた食育のねらい・目標を理解し計画を立て実践する。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>離乳食は担任と連携し一人ひとりに合わせた給食作りをすることができた。</li> <li>幼児組では月に1～2回食育活動を実施し、食べる事の楽しさを伝えた。子ども達も食への興味を持つ事が出来た。</li> <li>乳児組では年間を通し食育を行うことができなかった。興味の幅も広がり好き嫌いも増える時期でもある為、食材に触れる機会を増やしていきたい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本や写真では見たことのある野菜断面を実際に目の前で見られる活動は良い。</li> <li>保育園での食育が家庭の会話のきっかけや食べ物への興味に繋がるので今後のクッキングや買い物に行く活動が戻ってきてほしい。</li> <li>食べるのが楽しみになるような行事食だと思ふ。</li> <li>日頃の給食も行事食も家庭ではできない工夫が施されていて勉強になる。</li> </ul>
特色のある保育の展開	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に根差した園になるために園での取り組みや情報を地域に公開する。</li> <li>気軽に相談できる場所の提供し子育て支援をする。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は公園で遊ぼうを実施し地域の子育て家庭と園との交流や子育て相談の場としての役割が持てた。施設見学の際にも公園で遊ぼうの案内を行い参加していただき実際の子ども姿や園の様子を見てもらう機会を作った。</li> <li>チラシの配布やインスタグラムで情報提供を行い地域の人が気軽に参加できる子育て支援の場を作った。</li> <li>子どものスポーツ推進としての活動としてサッカー場の利用や触れ合いや関係者との触れ合い等も行った。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の子育て支援施設は予約が必要だったり利用するにはハードルが高いと感じてしまう。日頃遊びに出かける公園ならば気軽に参加がしやすい。公園は誰でも参加が可能な場所の為、危険人物や子どもの置き去りに注意しなければならない。必要であれば警察に巡回してもらう。</li> <li>サッカー関連の施設との連携は子ども達もとても喜んでいて今後の活動にも繋がるので続けてほしい。</li> <li>見浜園でも地域の方向けのイベントを独自で企画している。園と合同でイベントを企画開催しても良いかもしれない。(園内であればおむつがえや授乳など行なえるコーナーがある)</li> </ul>
	4	キャリアアップファイルを活用しながらキリスト教保育の中に生かしていく。またキリスト教保育の実践に取り組んでいく。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>月の保育計画を行う際は法人のキャリアアップファイルを元に行っている中で保育の中にキリスト教保育の特色を組み込んでいる。</li> <li>讃美歌は計画的に取り組んでいるが、幼児組は毎日の礼拝での聖話、乳児組では朝の会のお祈りの仕方や聖話の理解・取り組み等が課題である。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>聖話に関しては子どもたちと一緒に考えればいいのでは？年齢と共に聖話や神様に対する理解も変化していくのでその時々先生方の思ったことを伝えてもいいのではないかな？</li> </ul>

評価項目		具体的な取り組み	園関係者評価委員会			
			評価	保育園としての反省と改善策	評価	意見
保護者との連携	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者・保育園が一体となり、子どもにとって良い保育環境が構築されるよう保護者会を設立する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者と保育園が一体となり、子どもにとってより良い保育環境が構築される事を目的とし保護者連絡委員会が設立された。クラスを超えた保護者同士の交流と情報共有をねらいとした交流会を計画・実行した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回の評価内容が改善されてた結果だと思う。コロナ禍でなかなか交わる事がなかった学年やクラスの垣根を超えた保護者同士の交流もできている。今後は本来の目的を明確にした規約を打ち出し連絡委員、保育園と内容を擦り合わせていく。</li> </ul>
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>園だより・クラスだより等は、保護者が読みやすく、また読んで理解・協力してもらえるような紙面の工夫と配信方法を考え発信する。</li> <li>日々の子どもの様子を伝えるためにInstagramを活用する。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>園だよりやクラスだよりは複数人でチェックをし、伝わりやすい内容になる様に工夫している。また、デジタル配信によりスマートフォンなどの端末から配布物を見て確認する保護者も多いのでより見やすいようにB4からA4にサイズ変更を行った。</li> <li>Instagramでは日々の活動内容をタイムリーに配信できるように心掛けると共に動画の配信も行い、保育の様子がより伝わりやすいようにしている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者にとっても電車通勤などの移動時間に見られるのでデジタル配信になりとても助かっている。キッズリーでは送信確認が出来るので先生方も見ていない人を目掛けて声を掛けられるので業務削減にも繋がるのではないかな？</li> </ul>
保育者の質の向上	7	法人キャリアアップに促した保育の実践が継続的にできるよう取り組みを行う。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育の質の向上をねらいとし法人で研修検討委員会があり、委員会メンバーが中心となり保育の中での課題や質の向上のために学びたい内容等を出し合い検討し、保育実践に繋げている。季節に合った手遊びや子どものつぶやき・エピソードを職員間で共有し保育者としての喜びを再認識する機会となっている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会がどのような目的をもって運営しているかがわかった。実践につながるようなキャリアアップファイルも利用できているのであれば今後も継続してほしい。</li> </ul>
	8	保育チェックリスト（不適切な保育の未然防止）を活用し日々の保育及び自身の振り返りをする。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人独自でチェックリストを作成し保育の振り返りを年2回行っている。チェックリスト以外にも不適切な保育の報道内容等を職員間で共有し、自分たちの保育の振り返りを行った。保育士だけでなく栄養士等も保育に携わる一員として全職員で子ども達への関わり方や言動についての意見交換を行い不適切な保育の未然防止に務めた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>セルフチェック出来る指標があることは良い。園で管理されていると職員が負担に感じてしまうと思う。あくまでセルフチェックなので落ち着いて自分と向き合うことができるような時間を園で確保できるようにして欲しい。</li> </ul>

評価項目		具体的な取り組み	自己評価		園関係者評価委員会	
			評価	保育園としての反省と改善策	評価	意見
危機管理	9	感染症・自己食物アレルギー発作に対する実践的研修を行う。	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症流行拡大を防ぐために日々の消毒方法の統一化を園内で行っている。看護師が居ないので、二人合同の感染症・安全対策委員会会議にて姉妹園や園医と感染症や怪我の情報の交換や共有を行っている。</li> <li>・今年度は嘔吐処理の研修が行えておらず新規採用職員に伝えきれていないので、今年度中に行う。また、安全対策や感染症対策についての研修や会議に関して職員からの発信がないため、それぞれの職員が問題意識を常に持ち、自主的に会議や研修を行っていきたい旨を発信していけるようにしていく。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策に努力してくれていることが伝わっている。</li> <li>・反省点があることはわかるが、行った取り組みがあることを評価して欲しい。</li> </ul>
	10	インシデントやヒヤリハットを基に具体的な事故防止に努める。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育中の事故や怪我は園長・主任に報告を行い、朝礼や会議等で速やかに職員間で共有すると共に必要に応じて会議で各職員から再発防止策を出し合うことで再発防止に努めている。</li> <li>・インシデントやヒヤリハットの段階での報告、情報共有を行い事故や怪我を未然防止に努める事が今後の課題である。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インシデントの作成などを行っていることは良いことだと思う。いつも全力で子どもたちを守ってくださることに感謝している。引き続き子どもたちの安全を守って欲しい。</li> </ul>
	11	災害避難場所・避難経路・役割分担の明確化をし、実践につなげる。 ・マニュアルの整備をする。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各クラスに役割分担表を配布し、避難訓練の際には分担を意識して動いている。避難場所、避難経路は年度初めに担当職員と共に実際に歩き確認している。</li> <li>・定期的なマニュアルの確認が必要である。また、千葉市の巡回指導で散歩先での子どもの置き去り報告があったので、風水害だけでなく保育中におけるイレギュラー対応についても確認が必要である。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所や個々の役割分担も明白で確認も十分に出来ているので良いと思う。</li> </ul>
園経営全体の向上	12	グッドジョブカードを利用し、称賛文化と職員のモチベーション向上に向けた取り組みをする。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グッドジョブカードを利用した称賛文化を浸透させる取り組みも2年目を迎えた。昨年よりも職員間で互いを認め合う風潮が見られるようになり職員のモチベーション向上に繋がりがつある。</li> <li>・職員のモチベーション向上には円滑な人間関係だけでなく一人ひとりにとって働きやすい職場であることが大切なので法人の委員会では職員の働きやすさについてを追及している。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常に良い取り組みなので是非玄関などにカードを設置して保護者もカードを書き込み、渡せるようにしてほしい。送迎時になかなか直接会えない先生に感謝を伝えたい時に活用したい。デジタル化もできると良い。</li> </ul>
	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して長期的に見通し、実質超過勤務なしを目標に効率をはかり生き生きした勤務を目指す。</li> <li>・働き方改革（事務時間の確保・有給休暇取得率の向上・定時退勤の促進）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の年間休日120日を目標に掲げ一年を通して計画的に休日を取得できた。</li> <li>・休憩時間の確保は概ねできているが、保育事務時間の確保はまだ課題がある。</li> <li>・基本的には超過勤務はないが職員により定時退勤には差があるので上記の課題解決に取り組みたい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者連絡委員会設立の目的の一つとして、保育者の業務削減を掲げ今年度は天井飾りや発表会の背景などの作業手伝いを行った。保護者同士の交流とともに、保護者と園が連携し先生方の負担を減らし、双方にとって良いものになればと思っている。</li> <li>・質の良い保育には保育者の十分な休養も必要だと思うので反省に上がった点を活かして改善に努めてほしい。</li> </ul>

## 第2幕張海浜保育園園評価実施要綱

### 【目的】

乳幼児の教育・保育活動その他園運営について目標を設置し、その達成状況や取組み状況について評価することにより、組織的・継続的な改善を区

### 【評価】

①自己評価は、当保育園多職種によって（保育士・栄養士等）行い、設定した目標や計画に照らし、その目標の達成状況や取り組みの状況について評価を行う。

②園関係者評価は第2幕張海浜保育園に在籍する園児の保護者代表と姉妹園の園長他、園関係者・地域の方が自己評価の結果に基づき、評価と助言を行う。

### 【評価時期】

自己評価	年2回	9月・1月
評価委員による評価	年2回	1月
第三者評価	5年ごとに1回	2016年・2021年

### 【報告】

・園評価の結果について、保護者及び地域住民に公表する。尚、公表時期は、評価を実施した翌月とする。

### 【評価委員とその任期】

（自己評価者）

1	福嶋悦子園長・杉森末緒主任保育士・市川まりこ副主任保育士・永沼和花保育士・古作江梨奈保育士・加藤千尋栄養士
---	---

（評価委員）

1	第2幕張海浜保育園に在籍または卒園した園児保護者	連絡委員会会長 卒園児保護者代表	川嶋 恭子 笹木 美奈子
2	地域関係者	株式会社千葉ステーションビル海浜幕張支店 支店長 海浜幕張駅長 県立幕張海浜公園パークセンター所長	前原 奈緒子 藤本 絵美
3	姉妹園職員	社会福祉法人愛の園福祉会 幕張海浜こども園園長	千葉 諭
4	その他園が認めた者		

評価委員の任期は委嘱の日から2年後とし、再任を妨げない

